

2006 年 7 月 1 日発行
発行人：徳丸 公義
発行所：神戸市中央区海岸通 8
神港ビルヂング 5 階 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子・八巻 晤郎

～～6 月例会報告～～

八巻 晤郎 (昭 40 経)

6 月例会は 23 日倶楽部ルームで開催、5 月の総会で選出された広瀬努新会長の就任挨拶と大学塾生家族懇談会出席の報告でスタートした。

塾生家族懇談会は、首都圏以外に在住する塾生の家族を対象に大学関係者が直接赴き、大学の近況をはじめ塾生の勉学・学生生活・進路等について説明し質疑応答するというもので一つの地域につき原則 2 年に 1 回開催している。本年は 22 府県を予定しており兵庫県は 7 日に神戸ポートピアホテルで行われた。当日は平日の午後であったが多数の保護者が出席され、桜本光商学部長を中心とした塾関係者の説明を熱心に聞き入っていた由。

9/3・関西合同三田会、9/10・ワグネル男声合唱団の神戸公演については連絡事項として徳丸幹事長が詳細を説明、協力を呼びかけた。

また芦原会員からは彼が大学で講義している企業マネジメントについての教本をまとめ出版することになったが一般企業の社員研修等にも役立つと思うので利用していただければと紹介 PR があった。



(慶應の水泳部には競泳、水球、飛込の他に「葉山」と呼ぶ遠泳・古式泳法の部門がある)。現在、

続いて新入会員として安川清一郎さん(昭 54 法)、宮川侑子さん(平 18 商)が紹介された。安川さんは体育会水泳部の葉山出身

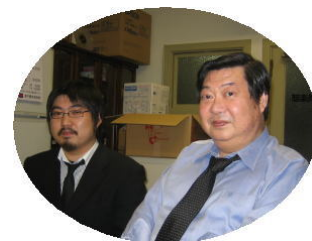
勤務先の日本郵船から神戸市役所へ出向中、海外勤務経験を生かし神戸港のポートセールスに精力的に飛びまわっている。



宮川さんは小学校 5 年まで神戸市立箕谷小学校、その後父

親の転勤で横浜へ、そして中高時代は 2 年半を南米のベネズエラで過ごした経験を持つ今年 3 月卒業の社会人一年生。日興コーディアル証券神戸支店勤務、毎朝 4 時起床、6 時 45 分出社、20 時退社、22 時就寝という元気印、若さ一杯で飛び込み営業も経験中とか。

久しぶりに出席された鳥巢実さん(昭 46 工)には挨拶中に迎えに来られた塾卒の息子さんを新入会員として申し込んでいただくうれしいハプニングも。



「若い世代の参加しやすい環境づくり」を標榜する広瀬新会長の初例会らしく参会者には若いメンバーが目立ち今後の倶楽部の活動に楽しみな予感を抱かせる一夕であった。

7 月家族例会はサマーパーティです!

日時：7 月 29 日 (土) 18:30～
会場：北野クラブ SOLA (ソラ)

今年もオークションやります!
皆さまのたくさんの品物提供とお買い上げをお願いします。詳しくは 6 ページ目をご覧ください。

会員だより

《上海グルメ旅行》

藤井 文明 (昭 39 工)

5月の下旬、関空から2泊3日の旅程で上海へ行って来ました。以前に香港、マカオには行ったことがあり、中国へは二度目の旅行です。今回はグルメの旅と銘打った少人数の団体旅行で、塾工学部同級生である藤本元君（現同志社大学工学部教授）の夫人文子さんが京都ホテル中華料理部門の料理長から料理法の勉強を受けておられ、その料理長が引率しての旅で、彼女から誘われて同行したものです。宿泊先の花園飯店（ホテルオークラ）でのディナーやテレビ塔すぐ横にあるかもめの形を模したレストランでの海鮮料理を楽しんで来ました。又花園飯店での食事の際には途中で合流された京都ホテルの社長で塾員の島津忠之氏（昭 43 経・京都慶應倶楽部会員）も同席され、和気藹々の打ち解けた晚餐会を楽しみました。

香港では狭い土地で多数の人口を支える為に高層ビルができるのは必然でしょうが、何と上海でも超高層とも言えるビルが無数に建っている印象で、広い国土でなぜ上に向けて建物を作るのかと疑問を生じました。しかし上海市の人口は15百万人（第一は重慶、二番目が上海、三番目が北京とのことです）とのことでやむなく納得。それらの超高層ビルはデザインも外壁の色も非常に個性的で見て飽きない感じでした。

旅行中の圧巻は二つありました。第一は上海博物館です。見学時間が1時間ほどしかなく、走り回って見た感じでしたが、陶磁器や宝石類、書画など丸一日見ても飽き足りない展示品の数々でした。ここへはもういっぺん行きたい思いがしています。二番目は上海雑技団の諸々の演技です。



素晴らしい曲芸あり、鋼鉄の網で出来た丸いかごの中でオートバイが5台も走り回るのは正に驚異的な技でした。

街中は非常にきれいにされています。道路脇には花が植えられ、高速道路でも両脇の柵に花が植

えられ気持ちよく道を走ることができます。しかし有名な庭園である豫園を訪れるべくバスを降りたら多数の物乞いが現れ、手を差し出す様はこの国の近代化にはまだ数十年の歳月が掛かりそうとの印象を持ちました。



市内のデパートに田崎真珠の店がありうれしい気分になりましたし、町のあちこちに上島珈琲（但し珈琲の文字が王へんでは

なく口へんであったのは漢字の国の発想によるものでしょう）の看板がありこれも同様の気分でしたが、後日神戸慶應倶楽部上島元会長にお尋ねしたところ、以前に上島の商標の使用許可を与えていた台湾の法人が現在も独立に上島珈琲と使っているもので、元会長の会社とは現在は関係がないとのことでした。

空港からの往復する高速道路の横にリニアモーターカーの線路があり、時々400キロ以上の時速で走り去る列車が見えましたが、車両が小さく編成も確か4両でしたからまだ商業運転としては採算が合わない状態であろうと感じました。

この国は正に驚くべき進歩を遂げつつあるとの印象を持って帰って来ました。

写真1は上海博物館前からの景色。写真2は旧フランス租界の洒落た商店街。

《未知への道すがら》

森本 周子 (昭 25 文)

平成18年5月14日、「母の日」に、湯川スミ叔母（私の父小川芳樹の弟の湯川秀樹夫人）が、96歳でこの世を去った。

長男芳樹の娘であった私は仙台で生まれたが、京都の祖父母の家に行った折には、当時未婚の叔父達ならびに、後年その夫人となった叔母たちとは馴染みであった。

私共一家が昭和16年、東京に移ってから毘沙門町の家で、祖父が亡くなった時、お焼香や読経が終わり、隣室で休憩の時、私が言い出して叔母達と手をつなぎ、輪になって「かごめかごめ」を歌

ったりした事を、今でも昨日のように覚えている。

次男貝塚茂樹夫人も長身の美人であったが、三男の秀樹叔父夫人は、小学生の私と同じ気持ちになって、ニコニコしながら遊んで下さった。小川の母が50歳をすぎて間もなく戦後、病を得て急逝した時以来、「チカちゃん、お母さんの代わりになってあげる」と言われた。

東京から、私が神戸に嫁いで来てからは、毎年一族が京都の叔父達の家を廻り持ちで新年会を1月3日に開き、父も参加して私の娘や息子も加わり楽しいお正月であり、秀樹叔父没後もスミ夫人は我が家のメンバーに目をかけて下さった。

兎に角、スミ叔母がいる所、まわりが明るく花の咲いたような存在となつて、社会的にも、真底世界連邦の催しにうちこんで、名誉会長になったのも当然の結果である。

時々、娘のない叔母は「チカちゃん、秀樹さんは『あんたは事務的才能があるな』なんて、言うてはったわ」と笑いながら、他の思い出話と共に打ち明けられた。

96歳迄、生きて下さった有難さをかみしめつつ、大きな穴があいたような空虚感に襲われる日々、今頃はあの世で叔父さんと仲よく話がはずんでいゝ事であろう。二人共、笑顔よしであった。その面影は、私の心の中に永久に行き続けるであろう。

同好会だより

KKJC

永山 克彦 (昭50商)

團ちゃんライブ：時は6月7日(水)、場所は三宮・ライブハウス「グレートブルー」團裕子さんの初ライブである。私が会場に入ったのは集合時間をちょっと過ぎた午後6時5分頃。60名程が座れる会場の半分は既にKKJCのメンバーが占拠し宴会が始まっている。出席者総勢28名。呑んで食べて騒いでいる内に、いよいよ第1ステージの開始。会場を見渡すと全く空席が無い。超満員・大人気である。

まずは出演者の紹介。ピアノ・安藤義則、ベース・魚谷のぶまさ、ドラム・御葉袋一男。錚々たるメンバーをバックに團ちゃんの歌い始めの曲が

Fly me to the moon。そして Day by Day、Love is here to stay、You'd be so nice to come home to、



Misty、Just in Time と続いて第1ステージ終了。ジャズを歌い始めて2年5ヶ月、今回が初ライブとは全く

思えない素晴らしいステージである。第2ステージは Blue skies で始まり、On Green Dolphin street、Sometimes I'm happy、Cruising、星に願いを、On a clear days の6曲を熱唱。乗ってきた勢いで(呑み過ぎ?) ついつい“團ちゃ〜ん”と大声援を送ってしまった。お陰様でとても楽しい一時を過ごさせてもらいました。次回の團ちゃんライブは9月6日(水) at グレートブルー。

理子ちゃんライブ：時は6月18日(日)、場所は梅田のブルーノート。なにわ芸術祭・中山正治ジャズ大賞を受賞された小川理子さんの記念ライブである。開演は午後6時にも拘らず会場前は午後5時頃より長蛇の列。KKJCの面々を含め理子ちゃんの応援団が多数並んでいる。流石、理子ちゃん人気は凄い。この中山ジャズ大賞は今回が



14回目で、過去に澤崎至さんも受賞されている。今年の実賞者はアマチュア部門で理子ちゃん以外にもう一人(トランペッターの大学教授)とプロ部門ではベーシストの中山良一氏の3名。まずは受賞者3名の紹介。理子ちゃんの上品さが一際目立つ。続いて賞金(なんぼかは不明)と造形作家・篠原猛史氏作のオブジェの贈呈式。

続いて受賞者の記念ライブの開演。いよいよ我らの理子ちゃん登場。ガーシュインの曲を含めて3曲をソロで熱演・熱唱。理子ちゃんは歌にピアノにますます円熟味が増し、スケールの大きいとても素晴らしいステージであった。大学教授とのデュオのあと花束贈呈。花束の数も理子ちゃんが一番。大袈裟かもしれないが会場の半分近くが理子ちゃんファンと思われた。花束が持ちきれないの

で隣の大学教授にも手伝ってもらった。第二部は受賞者 3 名とその他ミュージシャンを含めてのセッション・タイム。理子ちゃんの演奏が少なかったのがちょっと不満だったが、とても楽しくスイングさせてもらいました。次回の理子ちゃんライブは 9 月 22 日 (金) at 芦屋・レフトアローン。團ちゃんの初ライブそして理子ちゃんの中山ジャズ大賞受賞、オメデトー。慶應の後輩は二人とも素晴らしい。

“フレー、フレー團ちゃん”

“頑張れ、頑張れ理子ちゃん”

♪また皆で応援に行きましょう♪

囲碁同好会

林 邦一 (昭 41 経)

連日の囲碁交流会・・・盛り上がっています！”

6 月 17 日 (土) 18 日 (日) 神戸慶應倶楽部・宝塚慶應倶楽部・慶應囲碁部 OB 会・理工学部 OB 会の交流会が開催されました。

◎ 6 月 17 日 (土) 慶應囲碁部 OB 会月例会 (大阪市北区堂島「中央電気倶楽部」にて) 総勢 13 名で、当倶楽部からは浅沼、安永、菊田、平田の 4 氏が参加しました。

◎ 6 月 18 日 (日) 理工学部 OB 会例会 (宝塚市・ヤンマー保養所にて) 総勢 9 名で当倶楽部からは安永、菊田、林の 3 氏が参加しました。

囲碁を通して交流の輪がますます広がりつつあり、今後が大いに楽しみです・・・

会員の輪

《タイ王国とタイ人》

一宮 弘忠 (昭 39 法)

一般的な日本人のタイのイメージはどんなものであろうか？

食べ物は辛い、エイズが蔓延している、売春婦が沢山、年中暑い、とタイに住んだことのある人は別として非常にイメージが悪いのではないだろうか。日本にいて TV で放映されるタイの番組を見ていると番組を面白おかしくするためか極端な取り上げ方をしているものが多いのでそれも仕方ないかと思う。タイに住んでみてのタイ人の良い所

を 2~3 挙げさせてもらおうと日本でもその昔あった良さ。物質的に豊かになるにつれて失って行った良さがまだ失われていないことだ。

その一つは礼節。お年寄り、親、目上の人を敬い大事にする心を持っていること。乗り物では必ず席を譲る、学校での先生への態度 (学級崩壊など考えられない)、中華料理を食べに行った時年下、目下の人には絶対に先に箸をつけない、日常生活での挨拶等々。それが日常生活の中でごく自然に当たり前にやられている。

これらはどこから来ているのかはっきりとは分からないが、国王への敬愛、仏教への信仰、お坊さんへの敬愛、家庭、学校での躾、教育が基本にあるように思える。近年日本では、国旗、国歌が法律で制定されたが、タイでは、官公庁、学校で毎日朝八時には国歌をバックに国旗の掲揚がなされ、夕方六時には降納されるし、TV も番組の途中であっても番組を一時中断して八時と六時には国歌が流される。またタイには国歌以外に「国王讃歌」があり国王に敬意を表する場合 (国王の出席される行事など) に演奏又は唱われる。映画館では映画上映開始前に国王の肖像が画面に映し出され、全員起立してこの曲が流れ、声を出して唱和する人がいたのには、最初驚きであった。又「国王讃歌」の日本語訳を次に記すが、この歌詞を見た時は更に驚きであった。

心も頭も陛下にささげます

陛下の威徳、慈愛はあまねく

とこしえに

生きとし生けるは陛下のおかげ

ご慈愛はますます深く

めぐみをもたらす

陛下ののぞみはすべて

かなえられましょう

すべて陛下のおんために捧げます

(タイ国日本人会 80 周年記念誌クルンテープ転載)

二つ目は分。社会生活の中で各人が分 (分相応の分) をわきまえていること。

三つ目はひたむきさである。その他にも感じる良さはあるが、この三つが今の日本と比べ特に印象的。しかし物質的に豊かになるにつれ、これら良さが少しずつ失われていく兆候が見られ残念に思っている。

そんなタイも通貨危機とバブル崩壊とから一時景気が落ち込んだが、今は立ち上がり自立への道を歩み始めている。距離は短い、高架電車や地下鉄も出来た。又、今年度中には新国際空港 (スワ

ンナプーム空港)が開港する。

しかしご存知の通り政治が安定せず又、原油が取れないため原油高の影響が大きく、5月の消費者物価指数上昇率は前年同期比 6.2%(前月比 0.7%)で、その主なものは、エネルギーが前年同月比 24.6%、公共機関運賃、同 25.6%、野菜果物が、同 16.2%と日常生活を直撃している。あらゆる分野でまだまだ発展途上にあることは、間違いない。

それでもタイ人は、年中常夏の気候と食糧自給率 300%という恵まれた環境にあり、又、血液型はO型の人が一番多いせいか、おおらかでクヨクヨしない国民性もあり、見ていて焦りが全く感じられない。(何事につけタイ人から聞く言葉は「マイ・ペンライ」)

ともあれアジアで唯一欧米列強の植民地にならず独立を守り通して来たタイ王国、タイ人は、誇り高く、そしてしなやかで、したたかであることに間違いない。

日本がタイに教えることも沢山あるが、タイから日本が学ぶことも沢山あるのではないか。

《今月の絵》



(黒田 玲子)

新入会員紹介

《サマーパーティ&オークション》

日時：7月29日（土）18：30より（受付18時）

会場：北野クラブ SOLA（ソラ）

神戸市中央区北野町1-5-4 TEL:078-222-5515

会費：男性：10,000円

女性・家族（高校生以上）：8,000円

小中学生：5,000円 小学生未満：無料

恒例の夏の家族例会は、今神戸で一番人気の結婚式場『ソラ』で、夜空を眺めながらの楽しいひと時を、ご家族お揃いでお過ごしいただきます。

またオークションも行います。

倶楽部運営資金確保のため、当日は皆さまからたくさんのお品物のご提供と、お買い上げの方もよろしくお願ひします。会の成功のため一人一品以上をご持参くださいますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

当日欠席される方、また大きい品物や重いものを出される方は、下記住所に送っていただければありがたいです。

〒650-0002 神戸市中央区北野町1-5-4

北野クラブ ソラ 大垣様苑（神戸慶應倶楽部気付と添書き願ひます） TEL:078-222-5515

（なお、勝手ながら送料につきましては各自ご負担願ひします。）

～～今後の行事予定～～

8月18日（金）例会 倶楽部ルーム

講師：山下英次氏

9月3日（日）関西合同三田会 岸和田

9月7日（木）慶早ゴルフ 神戸ゴルフ倶楽部

（詳細は次号でお知らせします。）

10月20日（金）例会（講師招聘予定） 倶楽部ルーム

11月17日（金）例会 倶楽部ルーム

12月9日（土）年末家族例会 外部（未定）

2007年1月5日（金）賀詞交歓会 倶楽部ルーム

～～事務局よりお願ひ～～

◎例会等にご出席の会員さまはお食事等の準備の都合がありますので、事前に事務局までお申し込みを願ひします。なお、連絡なしで当日欠席された場合はキャンセル料を頂くことがございますのでご注意ください。

◎今年度は名簿改定の年です。変更等は7/20までに必ず事務局にお知らせください。

◎年会費未納の会員様は至急お振込お願ひします。

～～関西合同三田会のご案内～～

岸和田だんじりを見に行こう！

日時：9月3日（日）11：00～15：00

場所：浪切ホール（岸和田市港緑町1-1）

会費：大人 10,000円 小・中学生 5000円

詳細については、先般会員に送付の案内状・申込書をご覧ください。（事前登録制となっています。）

申込締切：7月20日

～～大阪慶應倶楽部からのお誘い～～

《第75回大阪慶應倶楽部創立記念祝賀会》

日時：7月18日（火）18：30～21：00

会場：帝国ホテル大阪 3階「孔雀東の間」

大阪市北区天満橋1-8-50 TEL:06-6881-1111

会費：10,000円（平成9年卒業以降の方は6,000円）

記念講演：講師 俳優・気象予報士 石原良純氏（昭和59年経済卒）**演題** 「一日に一度は、空を見よう」

参加ご希望の方は、大阪慶應倶楽部事務局まで直接お申込みください。

TEL:06-6202-0516 FAX:06-6202-4185

♪慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団♪

神戸公演のお知らせ

日時：2006年9月10日（日）午後2時より

会場：神戸文化ホール 中ホール

（神戸市営地下鉄山手線大倉山駅徒歩1分）

主催：慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

賛助出演：神戸女学院大学コーラス部

チケット：三田会会員1500円・一般2000円

400枚の協力要請がきていますので、ご近所お知り合いの方に呼びかけて売り込みをお願いします。

皆様の投稿をお待ちしています。

「BRB」についてのご意見、ご感想もお聞かせください。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

八巻 晤郎 yamaki@1965.jukuin.keio.ac.jp

編集後記

六甲山の紫陽花も今が見頃でしょう。色の変化を長く楽しめる花ですね。会員の中には年配の方（失言）若い方含めて、プロ顔負けの画家・棋士・ミュージシャン・ゴルフファーなど芸達者ぞろい、ここに来れば交流の輪が広がる事間違いなしです。

（ほ）

サッカーワールドカップもいよいよ佳境。プロの技と根性の真剣試合がゲームを熱くし、ワンプレーに世界が固唾をのむ。かたや投資のプロ、パフェット氏が四兆三千億円を寄付して世界の度肝を抜く。スポーツに金融に世界のプロの凄さに圧倒され、ただただピルのジョッキを重ねるだけ。

（晤）